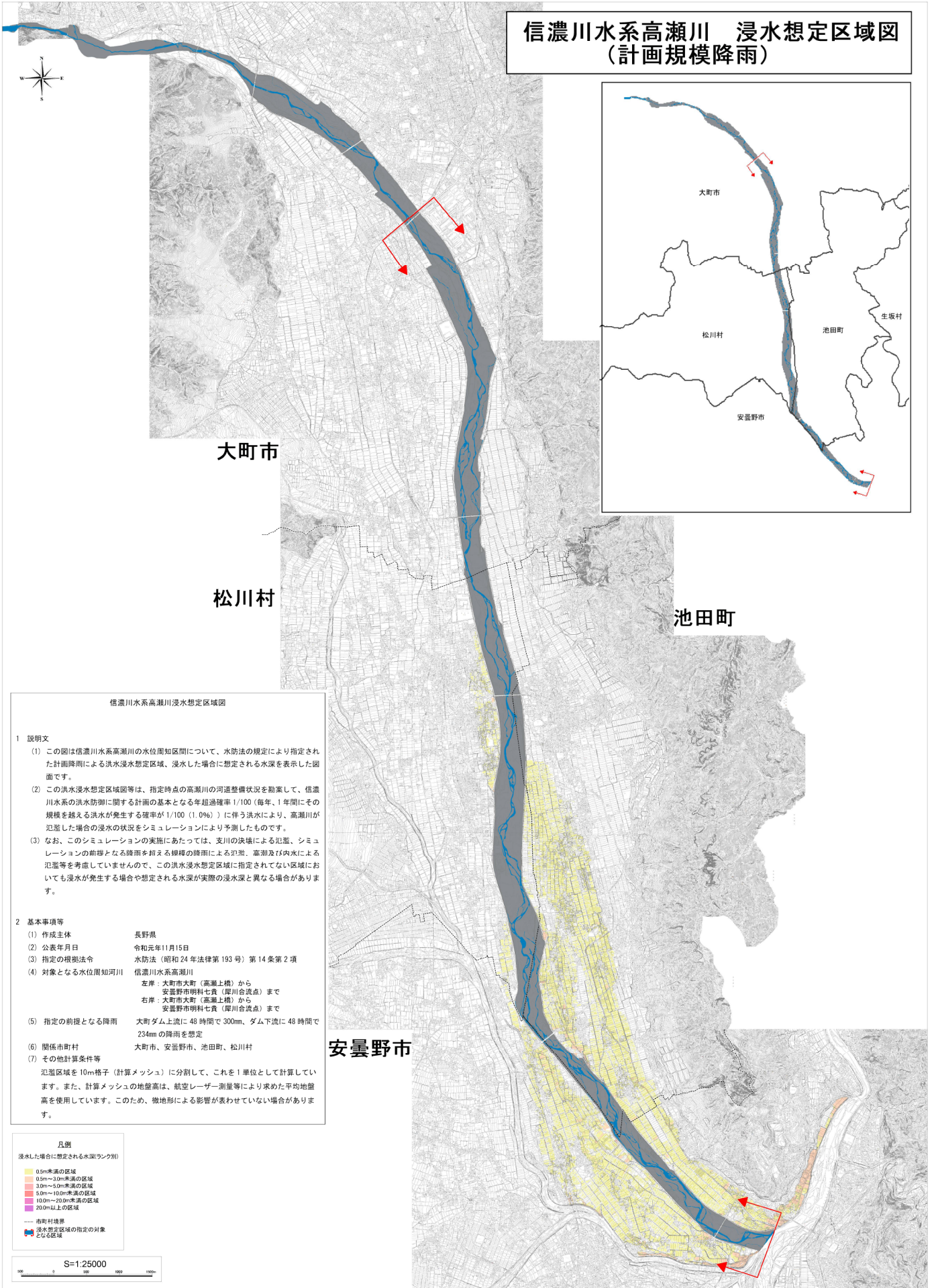


信濃川水系高瀬川 浸水想定区域図 (計画規模降雨)



信濃川水系高瀬川浸水想定区域図

1 説明文

- (1) この図は信濃川水系高瀬川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された計画降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の高瀬川の河邊整備状況を勘案して、信濃川水系の洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/100 (毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100 (1.0%) に伴う洪水により、高瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高瀬及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 長野県
- (2) 公表年月日 令和元年11月15日
- (3) 指定の根拠法令 水防法 (昭和 24 年法律第 193 号) 第 14 条第 2 項
- (4) 対象となる水位周知河川 信濃川水系高瀬川
左岸：大町市大町 (高瀬上橋) から 安曇野市明科七貴 (犀川合流点) まで
右岸：大町市大町 (高瀬上橋) から 安曇野市明科七貴 (犀川合流点) まで
- (5) 指定の前提となる降雨 大町ダム上流に 48 時間で 300mm、ダム下流に 48 時間で 234mm の降雨を想定
- (6) 関係市町村 大町市、安曇野市、池田町、松川村
- (7) その他計算条件等 氾濫区域を 10m 格子 (計算メッシュ) に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

- 市町村境界
- 浸水想定区域の指定の対象となる区域

S=1:25000

この地図は、大町市長の承認を得て、大町市都市計画基本図数値地形図レベル2,500を使用したものです。(承認番号 30精第45号)
この地図は、安曇野市長の承認を得て、安曇野市都市計画基本図数値地形図レベル2,500を使用したものです。(承認番号 30都第1917号)

この地図は、池田町長の承認を得て、池田町都市計画基本図数値地形図レベル2,500を使用したものです。(承認番号 30全町第410号)
この地図は、松川村長の承認を得て、松川村地形図データ(都市計画データ)を使用したものです。(承認番号 30松総第151号)